



地域おこし協力隊 塚本 麻里(つかもと まり)

すっかり温かくなりましたね。雪国ほど春の訪れが喜ばしいことは ないと思います。

さて、この原稿を書いているのは4月1日ですが、みなさんがご覧 になるころには新型コロナウイルスの影響はどのようになっているで しょうか。

世界経済の動きを身近に感じることはそう簡単ではありませんが、 都市から離れた和寒町に暮らす私たちにも間違いなく影響が及んでい ます。今や世界は切っても切り離せず、目に見えなくても確実につな がっているのだということを感じざるを得ません。

新型コロナウイルスの影響を大きく受ける人々の中には、生活そのものを考え直す必要に迫られて いる人もいます。仕事、住む場所、財産や負債、家族・人間関係など、様々な分野でこれまでのやり 方を整理するタイミングとなっているのです。

今回のことで世界経済が大きく変わるとすれば、これまで順調だった産業が立ちゆかなくなったり、 反対に、注目されなかったような産業が成長、あるいは新しく生まれるなど、求められるものも変わっ てくる可能性があります。

和寒町の基幹産業である農業や豊かな自然環境は、改めて注目されるのではないかと私は思います。 新型コロナウイルスの感染拡大は、その早さによりいかに対処するかが焦点となりがちでしたが、そ もそも普段から免疫力を高める生活をすることの大切さも訴えているように感じます。食は命の原点 です。農のある生き方はますます着目されるでしょう。経済的な影響から、これまで従事していた仕 事を見直し、アフターコロナの世界経済を鑑みたとき、農業や田舎暮らしにフォーカスする人も少な くないのではないでしょうか。

和寒町には農に近い暮らしがあります。田園回帰が世界的に不可避の流れになる可能性もある今、 町民一人ひとりがこの町の暮らしに誇りを持ち、求める人に知らせられる工夫をすることが、町全体 の健康と幸せにつながっていくと思います。

川嶋幸男さん 消防庁長官表彰を受賞

川嶋幸男さんは昭和57年に入団以来、37年以上にわたり消防団の 任務にあたられ、平成16年4月からは消防団幹部として活躍される など、永年の功績が認められ、消防庁長官から「永年勤続功労章」が 贈られました。

現在も副団長として町民の生命と財産を守るため、消防団活動にご 尽力いただいています。



消防団

和寒町消防団において下記のとおり退団・昇格・入団に伴う異動がありました。 退団されました西本 祐己さんは4月1日付で機能別消防団員へ入団されました。

誠

昇格者(敬称略)

4月1日付 第2分団

> 副分団長郷 司 部 長高瀬 彰

班 長 和 久



退団者(敬称略)

3月31日付 第2分団

副分団長 西 本 祐 己

機能別消防団員

員 西田陽司

※機能別消防団員とは、元消防職員・消防団員を対象に、災害発生時において支援活動を行う隊員で あり、消防団活動を補完する役割を担っています。主な活動としては、基本団員(現消防団員)の補 佐、車両の運行、交通整理、被災者のケア等の後方支援に従事することになっています。